

松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間 地区説明会 質疑応答要旨
令和7年12月18日(木) 18時30分～20時30分
場所:大町市役所東大会議室、対象自治会:北原町、栄町、中原町、若原町

○質問1(意見のみ)

盛土計画をやめて現道活用の案を再考してもらいたい。

○質問2

松糸道路に関する整備される側道と横断道は資料に示される矢印の部分だけなのか。道路が整備された際には、交差する現道は使用できなくなり、松糸道路を横断するには資料に赤の矢印で記載されている横断道路のみが、使えるということで良いか。今後変更もあるのか。

●回答2(大町建設事務所)

今回の資料では最低限、現状の機能を確保

する上で必要な横断箇所を示させていただいている。詳細は事業実施段階において検討していくため、変更の可能性もある。

○質問3

事業スケジュールでいうと、実測地形図による設計段階で詳細な計画が確定するのか。また、その時期の目処は立っているか。

●回答3(大町建設事務所)

実測地形図による詳細設計を進めながら、改めて地域の皆さんに説明して意見を聞いて、側道や横断道の位置を決めていく。現時点では目処は立っていないため、具体的な年数はお答えできない。

○質問4

以前の説明会では現道利用のルートになりそうという話だったが、なぜ現道を利用しない C ルートになったのか、理由を教えていただきたい。一方的に公表されて何もヒアリングされていないし、説明会で反対意見が出ても、検討しますと回答するのみで、その後、検討されてフィードバックがあるのかも分からぬ。大町の市民が納得して、ここにしかないということだったら、納得せざるを得ないが、なぜ住居が多い C ルートを採択されたのか説明いただきたい。

●回答4(大町建設事務所)

A ルートにほぼ決定だという説明はしていないし、A,B,C ルートに対して評価項目を決めて、その内容についても皆さんのご意見を聞きながら進めてきた。A,B,C ルートの中で 1 番優位性が高く、他にも大町市の意見を聞きながら C ルート帯に決定した流れになる。また、A ルートが現道を活用することではなく、A ルートも C ルートと同様に、盛土による新しいバイパスのルートとなる。

○質問5

現在、道路がある場所に新たに道路を整備するのが、1番周辺環境の変化がないと思い、その意味での現道利用という意味だが、そのようなプランはないのか。Cルートは評価項目として、市街地の活性化が記載されているが、ここに道路ができることで、市街地が活性化するということは想像できないし、その評価項目の決定も住民の声が反映されてないし、抽象的なことが多いと思う。大町から松本へ向かう道は8本もあるのに、わざわざ新しい道路を整備する必要があるのか。

●回答5-1(大町建設事務所)

今回は地域高規格道路を整備することが目的である。現道活用については、市道であるオリンピック道路を利用すれば良いのではないかと、これまでの説明会でも意見をいただいているが、オリンピック道路は現状で8箇所に信号があり、全ての交差箇所を立体交差にしなければいけないこと、沿道からの出入りも制限する必要がある。今回説明したルートでは、沿道や一般道からアクセスできるのは、4箇所のインターチェンジのみとなる。オリンピック道路では区間内に多くの乗り入れがあるが、それを全て制限して側道を整備するとなると、沿道のほとんどの方は移転してもらうことになり影響が大きい。また、オリンピック道路は7メートルの幅員しかないが、高規格道路として利用するのであれば、9.5メートルまで、幅員を拡幅しなければならないといった問題から現道活用よりも、新しく道路を整備した方が、効果的と考えている。

●回答5-2(大町市)

市から少し補足させてもらうが、A,B,Cのルート案が出た時に、市としてどのルートが望ましいかというような意見は県には伝えていない。ルート選定にあたり、配慮いただきたい点を要望としていくつかまとめて県に伝えた経緯があり、それを踏まえて、県の方で最終的に決定したと理解いただきたい。また、Cルートに至った経緯も、ホームページ等で全て公表されているので、確認いただきたい。

○質問6

市がCルート帯を要望したことは、過去の説明会の発言や公文書で残っている。A,B,Cルートの検討の際に、県との調整の中で「市街地に近いところがいい」と言ったと3年前の説明会で発言があつたし、記録にも残っている。

●回答6(大町市)

大町市がどのルート帯がいいか要望したという認識はない。確認させていただく。

○質問7

計画案を確認すると、側道は盛土の両側に計画されているところが多いが、宮田町と大原町には両側に計画されていない。どのような違いがあるのか。

●回答7(大町市)

市道にアクセスできる最低限として、市街地側を優先して計画している。市街地と反対側には横断道を利用してアクセスできると考えているが、計画案は現時点でのたたき台であり、決定したものではない。

側道は両側に整備した方が利便性は向上するが、その分だけ土地や建物にも影響が出てくることを考慮しながら、側道をどの範囲に整備するのか、また、横断箇所をどこにするのかについては、今後、地域の皆さんと相談をさせていただきながら決定していく。

○質問8

道路ができることは非常に良いことだが、木崎湖トンネルより向こう側は道路が1本しかないため、そこで事故が発生した場合、道路が機能しなくなる。特にこの道路は降りる箇所がインターチェンジのみとなることから、事故が発生し、渋滞すると道路上に塞ぐような形になる。そんな道路を整備するより、国道148号を改良して2車線整備した方が、良いのではないか。予算を掛けてみんなが反対する道路を整備しても意味がないと思う。

●回答8(大町建設事務所)

松糸道路については、整備効果を早期に発現できるように区間を設定し、段階的に事業を進めている。大町市街地については、走行の定時制確保に課題があるため、この区間を優先して進めていく。木崎湖トンネルより北側は、現道活用することを整備方針としているが、地域高規格道路として活用するまでの課題や、必要な整備内容など検討するための調査はこれまでにも行っており、今後も各種調査結果によって、現状をしっかりと把握し、改善策などの方針がまとまった段階で地域の皆さんに説明していく。

○質問9

工事着手するのは、全ての地権者との契約が済んでからか。また、工事は起点から着手など、順序はあるか。

●回答9(大町建設事務所)

全線に渡って、土地の所有者と協議を進め、概ねの目安が立った段階で工事に入る予定である。工事の順序については、詳細な道路構造も決まっていない段階のため、現時点ではお答えできない。

○質問10

道路整備後の騒音予測データは提示されたが、工事中の騒音を心配している。現在のオリンピック道路を大型車が通過する度に、何台通ったかわかるほどの騒音がする。工事に着手すれば、何台のトラックが増えて、工事中はこれくらいの騒音になるというデータも示してほしい。

●回答10(大町建設事務所)

道路構造や工法が決定していないため、設計が進んだ段階でしっかり検討して、工事期間内に大型車交通量がどのくらい増えるかなどを示していきたい。

○質問11

家の前に、盛土が整備された場合、景観等はどうなるのか。田んぼに対しても盛土より高い壁ができてしまったら日当たりはどうなるのか、風通しも変わってくるだろうか、という心配の声も聞こえてきて

いる。観光客が、通り過ぎるだけの走行シミュレーションではなく、盛土が整備された時に、我々が暮らしていく中で、景色がどのように変わるのが、田んぼはどうなるのかをしっかり見せていただきたい。

●回答 11(大町建設事務所)

景観については、後ろにパソコンを用意して3次元モデルによる完成予想を、色々な地点からの盛土の高さや景観の変化を確認できるようにしているため、そちらで確認いただきたい。

○質問 12

生活目線で道路ができたらどのように景観等になるのか、個別に確認するのではなく、共通認識として示したほうがいい。ビフォーアフターのような形できちんと示したほうがいい。

●回答 12(大町建設事務所)

代表的なところで提示したが、時間の都合もあるため、個別で確認する時間を設けている。

○質問 13

2年程前のルート帯が決定する前の説明会の際に、土地利用への影響ということで、ルート帯にかかる戸数の数字が出ていたが、今回、ルート帯からルート線になったことによる戸数は出ているか。地区単位等で示せないか。

●回答 13(大町建設事務所)

道路構造や側道計画が決まった段階でないと、具体的な戸数は算出できないため、現時点ではお示しできない。地区単位も同様。

○質問 14

側道がある場合は何件など、現状の計画では何件というのは算出できると思う。盛土付近に住宅が残る人たちも大変だと思う。目に示せるデータは必要だと思うので、ある程度のものは用意していただきたい。

●回答 14(大町建設事務所)

ルート帯の時は A,B,C ルートに対して 100 メートルの幅の中での数値を提示した。今回は盛土構造の道路計画を提示させていただいたが、今後、事業実施段階において調整していく中で、擁壁に変わったり、側道の整備など計画が変わっていくため、現時点では事業主体となる県の方から具体的な数字を出すのは差し引かえたい。

○質問 15

大町市の方から C ルートを希望した理由を教えていただきたい。

●回答 15(大町市)

大町市から C ルートを希望したということはない。異議もあるため、改めて確認はさせていただくが、市から県に伝えたのは、ルートを決定する際にこういった観点を考慮して欲しいという要望となる。